

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	第1四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	68.0	77.4(R3)	—
政策1	①歴史講座等の参加者数(小～高)	人	189	239	415	+264
	②祭りの参加者数(祭礼参加者数)	人	937	987	—	—
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	41,708	—	—
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	2	1	+1
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.4	65.0	+1.2
	②下水道整備率	%	82	86.0	82.7	+0.7
	③地籍調査進捗率	%	19	22.4	22.1	+1.6
政策5	①町公式SNSの年間「フォロー」数	人	109	140	15	+6

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①小宅古墳群に七井中(70名)、益子西小(59名)、田野小(52名)、益子小(56名)、七井小(69名)、田野の遺跡には田野中(45名)、七井の史跡には七井中(64名)が、ふるさと教育の一環で訪れた。小中学生が町の歴史等を知る良い機会となった。</p> <p>②ましこ検定・ましこ世間遺産実行委員会を開催し、世間遺産のガイドマップ作成や「益子世間遺産のロゲイニング」の企画を検討した。た。(5/10)広報ましこに大六天の森のPR記事を掲載した。</p> <p>2 ①かさましこ日本遺産活性化協議会総会を「陶芸メッセ」で行った。(6/28)計28名参加</p> <p>3 ①図書館基本計画策定委員との懇談会を実施した。(6/28)</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、橋梁詳細設計業務と仮換地指定通知書作成業務の業務委託を実施した。ランドスケープ計画は、雨巻山登山道駐車場整備に向けて、関係者との打合せを継続的に実施した。</p> <p>4 ①前年度からの繰越事業である町道18号七井大平線の通学路整備事業は、予定通り工事が完了した。町道170号バイパス整備事業も予定通り用地測量業務の発注を行うと共に、一部の物件調査業務を前倒しで発注した。橋梁補修事業では、橋梁点検業務と橋梁長寿命化修繕計画改定業務の発注に向けて準備を進めた。その他の道路改良事業では、事業の前倒し発注を行った結果、事業着手率は58%となった。</p> <p>②前年度からの繰越事業である下水道築造工事と浄化センター汚泥処理棟増設土木建築工事が完了した。</p> <p>③山本XⅢ地区の認証請求書を県へ仮提出した。その他の地区についても計画通りに進捗している。</p> <p>5 ①町公式フェイスブックへの各課の投稿は、前四半期対比18件減の67件となった。</p>	<p>1 ①小宅古墳群その他の文化財を町内小中学生に紹介することにより、今後も益子の歴史や文化について学ばせ、益子を愛し、益子町に誇りをもつ人を今後も育てていく。</p> <p>②ましこ検定の一般受検者確保の対策として実施曜日や時間を検討していく。世間遺産については、今後ガイドマップを作成し学校等に配布する予定である。</p> <p>2 ①日本遺産認定から3年目となるため、昨年度までの事業実績を検証し、課題抽出を行いながら事業のあり方・進め方を検討していく。</p> <p>3 ①図書館基本計画の策定を引き続き行う。既存の施設の利用の検討や場所の見直しも行っていく。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、秋頃に予定されている水路築造工事及び仮設道路築造工事に向けて準備を進めていく。ランドスケープ計画は、地域を始めとした関係者との意見交換を通じて理解促進を図りながら、丁寧に進めていく。</p> <p>4 ①町道155号参考館線は、国庫補助金を活用し設計業務を発注していく。町道170号バイパス整備事業については、発注した業務を適切に管理監督し円滑に事業を進めていく。橋梁補修事業では、橋梁点検業務・橋梁長寿命化修繕計画改定業務の他、大和田橋補修工事の発注に向けて取組んでいく。その他の道路改良事業では、整備必要箇所の精査を継続的に行い、引続き必要性を踏まえて対応していく。</p> <p>②日本下水道事業団と基本協定を締結した浄化センター沈砂池ポンプ棟新設工事について、入札公告の実施に向けて取組んでいく。</p> <p>③前沢Ⅰ地区と大沢Ⅰ地区について、書類が整い次第、県に認証請求書を提出していく。</p> <p>5 ①町公式SNS(フェイスブック)がツイッターやインスタグラムにも拡大されていることから、KPIを変更していく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	第2四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	68.0	77.4(R3)	—
政策1	①歴史講座等の参加者数(小～高)	人	189	239	429	+191
	②祭りの参加者数(祭礼参加者数)	人	937	987	0	±0
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	41,708	6,724	-1,275
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	2	1	+1
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.4	65.0	+1.2
	②下水道整備率	%	82	86.0	82.7	+0.1
	③地籍調査進捗率	%	19	22.4	22.1	+1.6
政策5	①町公式 SNS の年間「フォロー」数	人	109	140	336	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①濱田邸長屋門の国登録文化財申請を行い、現地調査を受けた。</p> <p>①埋蔵文化財詳細地図作成調査を実施している。</p> <p>①出前講座「大羽地区の文化財」には小学生8名、高校生6名が参加した。</p> <p>①歴史講座は「八田知家と阿野全成事件」270名、「古代芳賀の豪族たち」75名の参加があった。</p> <p>②世間遺産活用のガイドマップを作成(「上大羽歴史文化保存地区の今昔マップ」を500部、「生田目地区散策マップ」を1000部)した。</p> <p>2 ①かさましこ日本遺産活性化事業の各種委託事業者のプロポーザルを行った。(有料ガイド化、ラーニングパッケージ、関連商品開発、ファミツアー、登録文化財説明動画制作)</p> <p>3 ①図書館建設については、新設と既存施設利用の比較資料の作成を委託した。また、役場内での図書館建設検討委員会を組織した。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、水路築造工事・建物補償算定業務・区画道路詳細設計等業務・上水道基本設計業務の業者が決定した。ランドスケープ計画は、検討の結果、雨巻山登山道駐車場整備事業を一旦凍結することとした。</p> <p>4 ①町道170号バイパス整備事業では、発注済の用地調査業務が完了したこと、新たな用地調査業務を発注した。橋梁補修事業では、大和田橋補修工事を発注した。その他の道路改良事業では、町道5号線(西明寺原線)及び道路照明LED化の工事を発注した。</p> <p>②今年度予定していた下水道築造工事の発注が全て完了した。日本下水道事業団へ協定委託している沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)は、落札業者が決定した。</p> <p>③1年目の前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲの各地区の事業は計画通りに進捗しているが、新型コロナウイルス感染防止のため事業説明会の開催は中止とし、説明資料の送付にて対応した。</p> <p>5 ①KPIを「町公式 SNS の年間フォロー数」に変更した。フェイスブック・インスタグラム・ツイッターへの投稿は合計で70件で、今年度のフォロー増加数は336人となった。</p>	<p>1 ①濱田邸長屋門は、国登録文化財を目指しており、さらなる文化財の保存活用に繋げていく</p> <p>①埋蔵文化財詳細地図作成については、最終3年目であり、10月末完成を目指して進めて行く。</p> <p>①歴史講座には町内外から歴史に関心の高い多くの方が参加してくれた。益子に関わりのある内容の講座であり、今後も継続していく。</p> <p>②世間遺産活用のための環境整備として、今後、地区ごとのガイドマップ配布と案内経路に矢印看板設置を検討している。</p> <p>2 ①本年度の日本遺産事業の委託業者が決定し、年度内の事業が見えてきた。今年度の各種事業を実施するとともに、令和5年度からの実施体制などを検討していく。</p> <p>3 ①図書館基本計画を尊重しながら、新設と既存施設利用の検討を引き続き行っていく。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、工事及び委託業務の進捗管理を通じて、計画通りに完了するよう進めていく。また、星の宮地区の「琴平池」を新たなランドスケープ計画の候補地として、今後検討を進めていく。</p> <p>4 ①町道155号線については、補助金の交付決定が下り次第、設計業務を発注していく。大和田橋補修工事では、工程通りに進捗するよう管理監督していく。その他の道路改良事業では、整備必要箇所の予定工事を全て発注できるよう取組んでいく。</p> <p>②下水道築造工事は、発注した工事が年度内に完了するよう工程管理を行っていくと共に、沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)については、定例工程会議を開催し進捗管理を行っていく。</p> <p>③事業説明会を中止とした三地区について、11月から予定している一筆地調査(境界確認)に合わせて、地権者に対して改めて説明を行っていく。</p> <p>5 ①様々な町公式 SNS 媒体を通じた町の情報発信を引続き各課に働き掛け、フォローを増やすことで、益子の新発見や再発見の機会を増やしていく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	第3四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	68.0	77.4(R3)	—
政策1	①歴史講座等の参加者数(小～高)	人	189	239	429	+191
	②祭りの参加者数(祭礼参加者数)	人	937	987	0	±0
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	41,708	15,971	△2,132
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	2	1	+1
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.4	65.0	+1.2
	②下水道整備率	%	82	86.0	82.7	+0.1
	③地籍調査進捗率	%	19	22.4	22.1	+1.6
政策5	①町公式 SNS の年間「フォロー」数	人	109	140	437	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①歴史巡りツアー(県立博物館・下野薬師寺コース)に14名が参加した(10/22)。参加者アンケートでは満足度92%であった。</p> <p>①埋蔵文化財詳細地図作成調査は39回目を終え、概ね完了した。</p> <p>①ましこ検定実行委員会を開催し、一般の検定日を決定した。(2/25(土)19時、2/26(日)10時)</p> <p>②世間遺産のガイドブックを1000部作成した。</p> <p>②益子世間遺産を巡るサイクルロゲイニングを実施した(11/20)。25名の参加者のうち2/3は町外からの参加であった。</p> <p>2 ①かさましこ日本遺産活性化事業の各種委託事業を実施した。(有料ガイド講座5回、ラーニングバケーションワークショップ3回、関連商品開発講習、日本遺産シンポジウム115名参加)</p> <p>3 ①図書館建設については、新設と既存施設利用の比較資料を作成し、議会の図書館建設特別委員会で説明した。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、水路築造工事に着手した。また、上水道・区画道路・橋梁の設計協議を行った。ランドスケープ計画は、前沢町有林と星の宮の琴平池周辺に係るワークショップを開催した。</p> <p>4 ①町道170号線バypass整備に伴う土地評価業務及び土地取得業務、町道155号線の測量設計業務の発注を行った。また、その他の道路改良事業は、予定工事のすべてを発注した。</p> <p>②下水道築造工事は、定期的に工程会議を実施するとともに、工事立会を適宜行った。下水処理場整備事業では、汚泥処理棟増設工事(機電)及び沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の定例会議を実施した。</p> <p>③山本ⅩⅢ、大沢Ⅰ地区の地区認証請求書を仮提出した。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区の地籍図・地籍簿の閲覧に向けて準備を進めた。</p> <p>5 ①町公式 SNS への投稿数は、フェイスブック57件、インスタグラム22件、Twitter30件で、今年度のフォロー増加数はそれぞれ140件、236件、61件の合計437件となった。</p>	<p>1 ①栃木県は歴史の宝庫であることが確認でき、今後も歴史ツアーを継続していくことにしたい。</p> <p>①埋蔵文化財詳細地図が概ね完成したので、今後は地図編纂事業に入る予定である。</p> <p>①ましこ検定は、一般受験者の増加を目指すと共に、中学1年生の受検も継続していき、ふるさと益子を理解し、益子を愛する人を育てていく。</p> <p>②今後も、ましこ世間遺産活用として、イベントを工夫していきたい。規模や内容については、スタッフの負担軽減を含めて検討していく。</p> <p>2 ①かさましこ日本遺産事業が実施され、成果と課題をまとめ、R5年1月実施の第2回活性化協議会で報告する。令和5年度から自主運営となるので、実施体制などを検討していくことになる。</p> <p>3 ①図書館基本計画を尊重しながら、新設と既存施設利用の検討を引き続き行っていく。図書館懇談会を実施して説明し意見を聞く予定である。</p> <p>①役場周辺土地区画整理事業では、工期内に完了するよう工事を進めていく。ランドスケープ計画では、計画に対して地域の人たちの理解を得ることが重要なことから、今後もワークショップ等を通じて理解促進に努めていく。</p> <p>4 ①町道170号線バypass整備事業では、まだ完了していない一部用地について、用地交渉に着手し契約を目指していく。大和田橋補修と道路改良事業では、年度内に完了するよう取り組んでいく。</p> <p>②下水道築造工事では、引き続き年度内に完了できるよう取り組んでいく。汚泥処理棟増設工事(機電)と沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)については、今年度の出来高まで工事が進まないため、繰越となる見込みである。</p> <p>③10月末から開始した前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲの各地区の一筆地調査(境界確認)は1月中旬に完了する予定である。</p> <p>5 ①引き続き各課へ町公式 SNS への投稿を依頼し、フォロー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	第4四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	68.0	75.6	△1.8
政策1	①歴史講座等の参加者数(小～高)	人	189	239	429	+185
	②祭りの参加者数(祭礼参加者数)	人	937	987	2,102	+2,102
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	41,708	22,285	+1,761
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	2	1	±0
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	65.4	67.5	+2.5
	②下水道整備率	%	82	86.0	82.7	+0.1
	③地籍調査進捗率	%	19	22.4	23.7	+1.6
政策5	①町公式 SNS の年間「フォロー」数	人	109	140	542	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①国指定登録文化財申請をしていた、浜田邸長屋門が内定し、益子町2例目となる。</p> <p>①埋蔵文化財詳細地図作成調査は終了し、報告書が完成した。</p> <p>①ましこ検定受験者は一般が14名(前年7名)と増加した。土曜日の夜に6名の受検があった。</p> <p>②民族芸能継承支援については、コロナ禍であったが地域での継承活動として28団体2102名の参加があった。</p> <p>②ましこ世間遺産の環境整備費補助申請が5件あり延べ27件あった。</p> <p>2 ①かさましこ日本遺産活性化協議会(1/12)</p> <p>①有料ガイドの運用に課する規則を検討した。</p> <p>①日本遺産推進シンポジウム(2/5)226名参加。</p> <p>①商品開発講座、個別相談会を笠間で実施した。</p> <p>①関連商品展示販売会を道の駅ましこで実施した。</p> <p>3 ①図書館建設については、検討の結果、候補地を町民センター周辺に増改築で決定し、議会で採択された。</p> <p>①役場周辺土地地区画整理事業では、事業計画の変更が県から認可された。ランドスケープ計画は、前沢町有林・円道寺池及び星の宮の琴平池周辺に係るワークショップを開催した。</p> <p>4 ①通学路整備事業では、町道18号線の工事が完成すると共に、町道155号線的设计業務が完了した。橋梁関係では、大和田橋補修工事が完成し、橋梁点検業務と橋梁長寿命化修繕計画改定業務が完了となった。</p> <p>②下水道築造工事は、定期的に工程会議を実施し、予定した工事は年度内に完成した。また、公営企業会計移行事業でも、予定していた業務がすべて完了した。</p> <p>③前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区の地籍図・地籍簿の閲覧を行った。前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区の基準点設置・一筆地調査(境界確認)・一筆地測量が完了した。</p> <p>5 ①町公式 SNS への投稿数は、フェイスブック41件、インスタグラム16件、ツイッター32件で、今年度のフォロー増加数はそれぞれ166件、302件、74件の合計542件となった。</p>	<p>1 ①登録文化財として、浜田邸長屋門の価値を、広報等により広めていきたい。</p> <p>①埋蔵文化財の保護と活用を通して、後世に残していく。また、開発業者への周知資料としても活用していく。</p> <p>①ましこ検定は、今後も一般受験者の増加を目指し、郷土に関心をもつ人を増やしていく。</p> <p>②民族芸能継承支援事業の交付金については、適切に審査し、今後も、支援の継続をしていく。</p> <p>②ましこ世間遺産環境整備費補助については、令和6年度以降について見直しを行う予定である。</p> <p>2 ①日本遺産事業の有料ガイド運用に向けて、ガイド養成とガイドコースの充実を図り、旅行代理店等に広報していく。</p> <p>①日本遺産シンポジウムは継続していく。</p> <p>①食品と工芸品10点が出品されたが、今後は価格設定等を検討していく必要がある。</p> <p>3 ①今後、図書館基本計画(案)を尊重しながら、増改築(併設)での新図書館建設に向けて準備を進めていく。</p> <p>①役場周辺土地地区画整理事業では、水路築造工事の他、新たに造成工事にも着手していく。ランドスケープ計画では、今後もワークショップ等を通じて理解促進に努めていく。</p> <p>4 ①設計業務が完了した町道155号線について、速やかに地元住民に対して設計説明会を実施する。また、町道170号線パイプ整備事業では、まだ完了していない一部用地について買収を進めていく。</p> <p>②繰越となった役場周辺土地地区画整理事業地内の管渠実施設計業務、下水処理場の汚泥処理棟増設工事(機電)と沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)を進めていく。</p> <p>③全工程が終了した前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区の認証請求の準備を進めていく。また、認証承認後、山本Ⅱ、山本Ⅲ、大沢Ⅰ地区の登記に向けた準備を進めていく。</p> <p>5 ①引き続き町公式 SNS への魅力ある投稿を通じて、フォロー数を増やしていく。各媒体でユーザー層が異なることから、幅広い層に向けて町の情報発信を行っていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承			
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	歴史講座等の小・中・高校生の参加者数	本年度目標値	239	現状値	429	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成		①前沢八坂神社本殿の町有形文化財指定 4/20 ①綱神社太々神楽保存修理事業申請 ②遺跡詳細分布地図作成調査6回 調査員14名 ④出前講座「小宅古墳群」七井中70名 4/14 ②埋蔵文化財詳細地図作成調査6回 調査員8名		
	5月	①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②埋蔵文化財の詳細遺跡分布地図作成調査 ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ④ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		①文化財保護審議会の開催 5/13 ①山根遺跡・小泉発掘調査現場視察 5/17.18 ③④第1回ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 5名 5/10 ④歴史めぐりツアー「那須地方の古墳巡り」開催 15名 5/21 ④出前講座「小宅古墳群」益西小59名 5/24		
	6月			②遺跡詳細分布地図作成調査3回 調査員1名 ④出前講座「小宅古墳群」田野小52名 6/10 ④出前講座「田野の遺跡」田野中45名 6/14 ④出前講座「日本遺産」七井中64名 6/17 ④出前講座「小宅古墳群」益子小56名 6/28 ④出前講座「小宅古墳群」七井小69名 6/29		
	7月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成		②遺跡詳細分布地図作成調査2回 調査員1名 ④歴史講座「八田知家と阿野全成事件」7/9 270名(内、中学生1名) ④文化財改修事業視察(真岡市   専修寺)7/18 6名		
	8月	①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②埋蔵文化財の詳細遺跡分布地図作成調査 ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ④ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		①国指定登録文化財(濱田邸長屋門)申請の現地調査(文化庁調査官) 8/8 国調査官1名.県文化財課2名.町職員2 ②遺跡詳細分布地図作成調査3回 調査員2名 ④出前講座「大羽地区の文化財」小学生8名.高校生6名 8/28		
	9月			②遺跡詳細分布地図作成調査2回 調査員2名 ④歴史講座「古代芳賀郡の豪族たち-本沼・小泉地区を含めて-」75名 9/10		
	10月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成		②遺跡詳細分布地図作成調査5回 調査員4名 ③歴史めぐりツアー「県立博物館・下野薬師寺コース」開催 14名 10/22 ③④第2回ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 10/20		
	11月	①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②埋蔵文化財の詳細遺跡分布地図作成の完成 ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ④ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		①栃木県文化振興基金助成事業(地域伝統文化継承事業)綱神社太々神楽衣装等更新完了 ①芳賀郡文化財保護審議会視察研修(茨城県立美術館/小田城) 21名 11/30 ②遺跡詳細分布地図作成調査8回 調査員6名		
	12月			②遺跡詳細分布地図作成調査22回 調査員7名		
	1月	①益子町歴史文化基本構想の改正、もしくは文化財保存活用地域計画の作成		②遺跡詳細分布地図作成調査19回 調査員6名 ④いきいき講座「益子町の歴史について」益子中1年生 12名+3名 1/16		
	2月	①文化財修理補助事業の遂行、文化財周辺環境整備 ②埋蔵文化財の詳細遺跡分布地図の活用 ③歴史探訪ツアーの検討 ④ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ④ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		①国指定登録文化財(濱田邸長屋門)答申 2/1 ②遺跡詳細分布地図作成調査16回 調査員5名 ③④第3回ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 2/10 ④ましこ検定(一般)2/25.26 合格者9/15名 ④ましこ検定(益子中)2/27 合格者76/81名		
	3月			①益子町文化財保護審議会開催 3/11 ②遺跡詳細分布地図作成委員会開催 3/11 ②遺跡詳細分布地図完成3/28 ④ましこ検定(田野中)3/13 合格者76/81名 ④ましこ検定(七井中)3/15 合格者20/42名		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①益子町歴史文化基本構想策定から5年が経過し、内容の見直し・更新を行う時期となっている。あわせて文化庁においては“文化財の保存・活用の一層の促進”を目的とした新たな計画「文化財保存活用地域計画」作成について通達が来ている。活性地域計画を策定することで補助対象事業の拡張を図れることもあり、現基本構想の改定を行うか、新たな活用計画作成かを、文化財保護審議会にて検討していくことになる。</p> <p>②埋蔵文化財詳細地図作成については、3か年事業の最終年度となるため、現地調査・地図作成を10月完了として進める。</p> <p>④ましこ検定については、一般受験者数の現象傾向が見られることから、受験日の曜日や時間帯の幅や、観光客向け検定の実施案など検討された。今後実施可能な手法を検討していく。</p> <p>④出前講座については、町内の全小中学校を対象としたふるさと教育として、主に地元の文化財や遺跡を中心とした講義を実施することができた。ひきつづき実施していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①濱田邸長屋門について、国指定登録文化財を申請し現地調査を受けた。登録になれば、益子町では「ましこ悠和館」につづき二つ目の国登録文化財となる。文化財保存活用に繋げていきたいと考える。</p> <p>②埋蔵文化財詳細地図作成については、3か年事業の最終年度となるため、現地調査・地図作成を10月完了として進める。</p> <p>④ましこ検定については、一般受験者数の現象傾向が見られることから、受験日の曜日や時間帯の幅や、観光客向け検定の実施案など検討された。今後実施可能な手法を検討していく。</p> <p>④2回の歴史講座を開催し、主に地元の文化財や遺跡を中心とした講義を実施することができた。毎回、好評となっている企画であることから引き続き実施していきたいと考えるが、さらなる広い地域のファン層向けに実施出来ないかを検討したい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①栃木県文化振興基金助成事業(地域伝統文化継承事業)を活用して、綱神社太々神楽衣装等52点の更新を行った。伝統芸能を継承と、文化活動の振興のさらなる推進を目的とした助成事業であり、他の地域伝統文化継承活動を行う団体に対しても必要に応じて活用を検討していく。</p> <p>②埋蔵文化財詳細地図作成にともなう現地調査については概ね完了し、地図編纂作業に入る。</p> <p>③第2回歴史めぐりツアーを開催し、参加者アンケートでは満足度92%であり「栃木県が歴史の宝庫であることが認識できた」等のご意見をいただいた。コロナ禍によるバス乗車定員の制限があることから、少人数バスツアーとなっている。</p> <p>④ましこ検定については受験者の減少が課題となっていたため、受験日時を例年の日曜日(日中)に加え、土曜日(夜間)を加えた。(検定日2/25(土)19時、2/26(日)10時) それぞれ昼夜の受験者に合わせた広報を検討する。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①国指定登録文化財申請をしていた濱田邸長屋門が答申(内定)され、益子町では2例目となる。登録文化財は、建築史的・文化的意義を守るため、その価値を十分に認識されないまま取り壊されてくることのないよう創設された制度であるため、町としても広報等を行い、その価値を広めていきたいと考える。</p> <p>②遺跡詳細分布地図が完成。遺跡分布地図作成の目的のひとつとして、埋蔵文化財(遺跡等)の保護・活用を通して後世へ残し伝えていくため、その所在を的確に把握し周知していくこととあります。その反面、公共工事や宅地開発などで、発掘調査がされないまま埋蔵文化財(遺跡)が壊される事例もあり、開発業者や土地所有者に対する周知、指導を徹底していくための基礎資料として活用していきたい。</p> <p>④ましこ検定(一般)の受験者数が14名(昨年7名)であり、僅かではあるが受験者増加であった。新たに設けた土曜日(夜)の受験者が6名あったことも増加となったひとつと考える。ましこ検定7年目となり、今後の参加者増、郷土愛育成に向けての効果的な開催方法や内容について検討する必要がある。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      関係者の努力によって目標値を達成しており、町の歴史や文化財を活用し、郷土愛を培う目標は達成されつつあるから。</p>	<p>歴史講座や、出前講座(小学生向け)の開催を継続し、歴史・文化財等の価値や魅力を広く発信していくことで、郷土愛の醸成を図っていく。文化財管理者においても文化財の保存・修繕の大切さを理解してもらい、文化・歴史・伝統の継承につなげていきたいと考える。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承			
施策	風習の継承	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	祭りの参加者数(祭礼参加者数)	本年度目標値	987	現状値	2102	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月		②民俗芸能等維持保存交付金交付要綱の改正 4/1			
	5月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR	①世間遺産実行委員会の開催 5名 5/10 ・ガイドマップの作成について ・世間遺産散策ルート「ましこ世間遺産を巡るサイクルロゲイニング」企画検討 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請3件			
	6月		②ましこ世間遺産環境整備費補助申請1件(延べ4件) ②民俗芸能等維持保存交付金申請 28件 ③「世間遺産No.6大六天の森」PR記事掲載広報ましこ6月号 ③「歴史講座(大六天の森)」記事掲載真岡新聞 6/17			
	7月		①世間遺産「上大羽歴史文化保存地区」の歴史探訪今昔MAPを作成 500部 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 1件(延べ5件)			
	8月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR	②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 2件(延べ7件) ③「世間遺産No.6大六天の森」NHK大河ドラマ「13人紀行」にて紹介映像放映 8/7			
	9月		①世間遺産「生田目古墳群/生田目城跡」を周回する生田目散策路のPR散策路マップのデザイン制作1,000部。(実施主体は生田目保全会) ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 7件(延べ14件)			
	10月		①ましこ検定・世間遺産実行委員会 7名出席 10/20 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 3件(延べ17件)			
	11月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR	①ましこ世間遺産を巡るサイクルロゲイニングイベント参加者25人 11/20 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 1件(延べ18件) ③ましこ世間遺産ガイドブック20P 1,000部作成 ③ましこ世間遺産パネル展示(道の駅ましこ) ガイドブック配付700部 11/16-12/15			
	12月		②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 4件(延べ22件)			
	1月		②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 3件(延べ25件)			
	2月	①ましこ検定・世間遺産実行委員会の開催 ①ましこ世間遺産を活用した散策ルート造成 ②ましこ世間遺産環境整備費補助 ②民俗芸能継承支援の促進 ③メディア・SNS等を活用した広報PR	①ましこ検定・世間遺産実行委員会 4名出席 2/10 ②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 1件(延べ26件)			
	3月		②ましこ世間遺産環境整備費補助申請 6件(延べ27件) ②民俗芸能継承支援(交付金交付実績28団体2,102名)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産については、平成29年度から令和2年度までの4年間で最終的に57件の認定となった。認定事業については一区切りとし、今後はガイドマップを作成し学校等に配布するほか、パネル展示など多くの方々に来訪していただけるよう活用へと移行していく。</p> <p>①ましこ世間遺産ロゲイニングイベントを11/23(祝水)に計画した。今後、地域関係者やイベント協力者と共に事業実施に向け調整を進める。</p> <p>①ましこ世間遺産環境整備費補助について、補助目的に沿わない申請内容があった。適正な審査のもとに事務処理を進めていく。</p> <p>②民俗芸能等維持保存交付金交付要綱の改正により、交付対象科目を明確化することができた。これにより交付団体においても活用範囲が明瞭となったことで、必要に応じた交付金の適正な活用に繋がると考える。認定者に対しては、今後の環境整備についても積極的に実施していただけるよう促していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産活用のための環境整備として、地区ごとのエリアマップを作成し、案内経路上に矢印看板の設置を検討している。今後は看板の作成と、設置箇所地権者等との調整を進めていく。</p> <p>①ましこ世間遺産ロゲイニングイベントを11/20(日)に変更し開催する。サイクリルロゲイニングイベントとして楽しく周遊してもらうことで、新たなファン層に地域の伝統文化を知ってもらうことを目的としている。</p> <p>②民俗芸能等維持保存交付金交付要綱の改正により、交付対象科目を明確化することができた。これにより交付団体においても活用範囲が明瞭となったことで、必要に応じた交付金の適正な活用に繋がると考える。認定者に対しては、今後の環境整備についても積極的に実施していただけるよう促していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産ロゲイニングイベントを開催した。参加者の2/3は町外からの参加であったため、町内スタッフのサポートライダーが同行。ロゲイニングポイント32箇所内、ガイドポイント1箇所・クイズポイント5箇所を設けて、学びながら周遊する仕掛けを行った。課題としては、町外参加者の割合が高く、町内全域をイベント対象としたことにより、参加者25名に対して運営スタッフが8名必要となり非効率であった印象がある。今後のイベント規模や内容については検討の必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①民俗芸能継承支援事業についてはコロナ禍での活動になったが、地域における伝統継承活動として28団体2,102名が参加することが出来た。交付金においては、適正な審査に努め、活動の支援を継続していきたいと考えている。</p> <p>②ましこ世間遺産環境整備費補助については、令和6年度以降については見直しを行う方向。補助支出内容を精査し、適切な補助支援に努めていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      関係者の努力によって目標値を達成しており、町の歴史や文化財を活用し、郷土愛を培う目標は達成されつつあるから。</p>	<p>ましこ世間遺産は、地域で愛され、将来にわたり守り伝えていきたい風土、風景、風習、食文化などの魅力を町内外に発信し交流を図ることを目的としており、地域や団体が主となり環境整備を行っている。行政は、広報PR面で関係団体と連携し、地域へ来訪を促していきたい。民俗芸能等の維持保存においても、伝統の継承のため地域団体への活動支援を継続していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	日本遺産を通じた地域活性化の推進			
施策	日本遺産の普及・啓発、周遊ルートなどの環境整備	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	構成文化財の訪問者数	本年度目標値	41,708	現状値	22,285	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①有料ガイド化推進		⑤構成文化財の訪問者数 4月/1,730名		
	5月	②ラーニングパッケージン・体験ツーリズム推進		⑤構成文化財の訪問者数 5月/3,882名		
	6月	③シンポジウムの開催		○かさましこ日本遺産活性化協議会総会開催28名出席 6/28		
	6月	④関連商品開発促進		⑤構成文化財の訪問者数 6月/1,539名		
	6月	⑤広報・案内板等の設置等の促進				
	7月			⑤構成文化財の訪問者数 7月/1,283名		
	8月	①有料ガイド化推進		①有料ガイド化事業プロポーザル 8/3 審査員7名		
	8月	②ラーニングパッケージン・体験ツーリズム推進		②ラーンバケ事業プロポーザル 8/3 審査員6名		
	8月	③シンポジウムの開催		④関連商品開発事業プロポーザル 8/4 審査員6名		
	8月	④関連商品開発促進		⑤ファムツアー事業プロポーザル 8/4 審査員7名		
	8月	⑤広報・案内板等の設置等の促進		⑤登録文化財説明動画制作プロポーザル 8/9 審査員6名		
	8月			⑤構成文化財の訪問者数 8月/775名		
9月			④商品開発ロゴデザイン会議 9/28			
9月			⑤構成文化財の訪問者数 9月676名			
9月			○かさましこ文化振興ワーキング会議 9/28 委員5名出席			
9月			○かさましこ観光振興ワーキング会議 9/28 委員5名出席			
9月			○笠間焼250周年記念シンポジウム出席 9/23			
9月			⑤構成文化財の訪問者数 9月/695名			
10月			①有料ガイド講習会 10/1(笠)16(笠)30(益)			
10月			④商品開発講座 10/4(笠)28(益)			
10月			⑤かさましこ日本遺産PRブース設置			
10月			・国体会場 10/2.3.7.8 かさましこ関連商品販売			
10月			・笠間ロマン10/8-10 アンケート調査180件			
10月			⑤日本遺産サミットin下関 PRブース出展 10/29			
10月			⑤ファムツアー実施10/25-26 参加メディア10社			
10月			⑤構成文化財の訪問者数 10月/2,437名			
11月	①有料ガイド化推進		①有料ガイド講習会 11/13(益)20(笠)			
11月	②ラーニングパッケージン・体験ツーリズム推進		②ラーニングパッケージンWS 11/8(笠)25(笠)			
11月	③シンポジウムの開催		③日本遺産推進シンポジウム開催 11/27(笠) 来場115名			
11月	④関連商品開発促進		④商品開発講座 個別相談会 11/22(益)			
11月	⑤広報・案内板等の設置等の促進		⑤かさましこ日本遺産PRブース設置			
11月			・益子陶器市11/3-6 アンケート調査137件			
11月			⑤オンライン交流学習(益子小3年/友部第二小3年)			
11月			・実施内容;かさましこストーリー紹介			
11月			⑤構成文化財の訪問者数 11月/3,390名			
12月			○かさましこ観光振興ワーキング会議 12/23 委員5名出席			
12月			○かさましこ文化振興ワーキング会議 12/16 委員4名出席①			
12月			有料ガイド現地実習 12/10(笠)11(益)			
12月			②ラーニングパッケージンWS 12/7(笠)			
12月			④商品開発講座 個別相談会 12/23(益)			
12月			⑤構成文化財の訪問者数 12月/935名			
1月			○かさましこ日本遺産活性化協議会総会開催 1/12 出席**名			
1月			④商品開発講座 個別相談会 1/18(笠)			
1月			⑤構成文化財の訪問者数 1月/1,678名			
2月	①有料ガイド化推進		③日本遺産推進シンポジウム開催 2/5(益)来場226名			
2月	②ラーニングパッケージン・体験ツーリズム推進		④関連商品展示販売(道の駅ましこ)2/5~2/26			
2月	③シンポジウムの開催		⑤かさましこ企画展示(町民会館展示室)2/4~3/10			
2月	④関連商品開発促進		⑤構成文化財の訪問者数 2月/1,608名			
2月	⑤広報・案内板等の設置等の促進					
3月			①有料ガイド運用に関する規則検討			
3月			⑤構成文化財の訪問者数 3月/2,333名			

シート2【 四半期検証シート 】

③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等	
第1 四半期	日本遺産認定から3年目事業となるため、昨年度までの事業実績を検証し、課題抽出を行いながら、事業の在り方・進め方等を検討していく。
第2 四半期	本年度の日本遺産事業(人材育成・普及啓発・観光振興など)の委託業者が決定し、年度内で実施する事業内容やスケジュールなどが具体的に見えてくるようになった。ワークショップや商品開発、ガイド養成講座など、文化観光プレイヤーの育成に繋がる事業が充実している。R5からの事業実施体制などを検討し、即戦力として活動していける人材の育成に務めていきたい。
第3 四半期	<p>①有料ガイド講座を5回＋補修を実施し延べ95名が参加。ガイド商品のコンセプトづくりから始まりガイドプランを作成し、誘客ツアーを想定した現地ガイドツアーを実施した。今後、実践運用に向けてのボランティアガイドと有料ガイドとの分けや、手数料規約などを整理していく必要がある。</p> <p>②ラーニングバケーションWSを3回実施し延べ16名が参加。体験型観光商品の造成を目的としてクロコ体験などの体験事業者を中心に参加を呼びかけたが参加者が少なかった。実施時期が陶器市直前だったことや、時間帯が平日夜であったことも原因のひとつだと考える。WS終了後においても、継続して体験事業者に声をかけ等行っていく。</p> <p>③日本遺産推進講演会in笠間が開催され115名の来場者があった。日本遺産シンポジウムは、対外的に日本遺産をPRする機会として今後も継続して実施していく。益子会場は2/5に開催を計画している。</p> <p>④関連商品開発については、昨年度の受講者に対しての全体講座・個別相談会を実施し、特産品開発の手法やパッケージデザイン等を学んだ。今回商品化されたものは2月に笠間・益子の道の駅で展示販売会を行い、実際に顧客の趣向や反応を確認する。</p>
総括 (第4 四半期 含)	<p>①今後の有料ガイド運用に向けて、登録制度内容や必要資格、料金設定、手数料などの検討を行った。次年度においては、運用組織体制を整え、新規ガイド養成の継続と、ガイドコースの充実を図りながら、旅行代理店等に広報していく。</p> <p>②ラーニングバケーションについては、体験メニュー造成への参加事業者を募り、メニュー充実を図っていく。あわせて、有料ガイド事業と連携し、かさましこの歴史文化的要素を組み込んだ旅行商品づくりに努める。</p> <p>③日本遺産推進講演会in益子が開催され226名の来場者があった。日本遺産シンポジウムは、対外的に日本遺産をPRする機会として今後も継続して実施していく。</p> <p>④かさましこ関連商品の展示販売を道の駅ましこで開催し、食品・工芸品等の関連商品10点が出品された。実績として食品の売り上げは好調だったが、民芸品(陶器、藍染等)については単価設定が高値であったこともあり、今後の販売手法について検討する必要があると感じた。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      目標値は達成されていないが、益子町の新しい魅力をつくり他に働きかけていくことは、今後の町にとっても大事なことであるから。</p>	<p>日本遺産活性化協議会と地域団体とが連携し、シンポジウム・文化財公開などの文化振興事業と、ツーリズム・有料ガイド運用などの観光振興事業を実施し、「かさましこ」を町内外向けに発信していくことで、構成文化財への来訪者増を図り、地域活性化につなげていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり			
施策	風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならではの」地域づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	2	現状値	1	地区
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月		④大郷戸ダム男子トイレつまり修繕			
	5月	④円道寺池、大郷戸ダム周辺緑地の保全活動	④円道寺池堤体修繕原材料支給、大郷戸ダム周辺の草刈り実施			
	6月		④大郷戸ダム男子トイレつまり修繕			
	7月					
	8月	④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動	④大郷戸ダム状況確認			
	9月		④大郷戸ダム周辺の草刈り実施			
	10月					
	11月	④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動	④大郷戸ダム底地の所有権移転に関する打合せ			
	12月		④大郷戸ダム財産譲渡に関する確認			
	1月					
	2月	④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動				
	3月		④大郷戸ダムトイレ給水管及び手洗い排水管破損修繕			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>農業用ため池である円道寺池の堤体は、機能診断の結果、堤体修繕必要があるという判定が下された。まずは応急修繕として、洪水吐流入口周辺に土嚢と木柵により補強工事を行った。実施主体は「益子花の会」。町からは材料を支給した。土嚢の数量が十分でないことから、9月補正予算にて100袋を要求する予定である。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>多目的広場及び東屋を中心に草刈りを実施した。水位低下により釣りが全面禁止となっているため、訪問する人は減少している。 今後は大郷戸ダムを地域資源として活用できないか、関係者との協議を進めていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>現在、県が地権者となっている大郷戸ダムの底地について、芳賀農業振興事務所と現状の確認及び今後の手続きについて打合せを行った。 芳賀農業振興事務所及び益子町土地改良区と確認を行った結果、昭和63年3月28日に栃木県と益子町土地改良区で土地改良財産譲与契約を締結したことが確認された。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>凍結により破損してしまった給水管及び老朽化による手洗い排水管の破損を修繕した。 大郷戸ダムの景観保全については、引き続きシルバー人材センターへ委託し、ダム周辺緑地の保全に努める。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      円通寺池は城内坂通りにも近く、少しずつ整備が充実してきていることから、益子町の花の名所のひとつとして他に更に誇れるものとなるよう期待している。</p>	<p>防災重点農業用ため池については、国の制度を利用し、計画的に改修を行っていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり			
施策	風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならでは」の地域づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	2	現状値	1	地区
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①役場周辺土地区画整理事業 総会の開催、役員会開催、業務委託	①事業計画変更事前協議(4/11) 第15回役員会(総会について)、定期監査 4/19 業務委託入札(4/26)			
	5月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催	①第5回定期総会、第15回役員会(5/22) ②空家等対策協議会準備 ●雨巻山登山道駐車場整備打合せ(5/11、13、17、19、27)			
	6月		①事業計画変更事前協議(6/8) 業務委託入札(6/22) ②都市構造再編集集中支援事業打合せ(6/8) ●ランドスケープWS発注準備、雨巻山登山道駐車場整備打合せ(6/2、3、10、11、20、22、28)			
	7月	①役場周辺土地区画整理事業 業務委託・工事入札、役員会開催	①建物調査(7/2,4,6,7,12,19)、橋梁設計打合せ(7/5)、水路工事打合せ(7/20)、無電柱化個別相談会(7/28)、上水道設計委託打合せ(7/29) ●雨巻山登山道駐車場整備打合せ(7/1、8、12、13)			
	8月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催	①画地確定現地確認(8/4)、水路工事積算打合せ(8/17、26)、建物調査(8/27)、第16回役員会(8/30) ●ランドスケープWS打合せ(8/1、26)、雨巻山登山道駐車場整備打合せ(8/23)			
	9月		①水路工事積算打合せ(9/8)、画地確定測量打合せ(9/12)、入札(9/28) ●ランドスケープWS打合せ(9/20)			
	10月	①役場周辺土地区画整理事業 工事着手、役員会開催	①建物調査(10/4、14)、上水道設計打合せ(10/6、12、14、18)、区画道路設計打合せ(10/14)、橋梁設計打合せ(10/17) ②空家等対策協議会準備 ●星の宮周辺ランドスケープWS(10/20)ランドスケープ計画推進委員会議(10/28)			
	11月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催	①橋梁設計土木事務所協議(11/2)、補助金要望活動(11/4)、上水道設計協議(11/8、14、17)、水路工事打合せ(11/8)、水利組合説明会(11/15)、建物調査(11/27)、補助金進行管理ヒアリング(11/25) ②空家等対策協議会(11/24)、都市再生整備計画ヒアリング(11/25)			
	12月		①公管金覚書締結(12/6)、水路工事打合せ(12/8、19)、無電柱化推進協議会WG(12/9)、事業計画変更事前協議提出(12/21) ●前沢町有林ランドスケープWS(12/5)、星の宮周辺ランドスケープWS(12/15)			
	1月		①上水道設計打合せ(1/11、1/24)、役員会(1/17)、事業計画変更認可申請(1/25)、縦覧告示(1/30)、建物調査打合せ(1/31) ●前沢町有林ランドスケープWS(1/19)、円道寺池ランドスケープWS(1/20)			
	2月	①役場周辺土地区画整理事業 工事、役員会開催、臨時総会開催	①事業計画変更縦覧(2/1-14)、橋梁打合せ(2/3)、上水道企業団打合せ(2/8)、役員会(2/15)、入札(2/21) ●星の宮周辺ランドスケープWS(2/24)			
	3月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画推進 ●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催	①消防本部開発協議申請(3/6)、上水道企業団協議申請(3/6)、調整池設計打合せ(3/8)、建物調査打合せ(3/9)、事業計画変更認可(3/10)、第7回総会(3/12)、変更認可縦覧告示(3/16)、仮換地指定打合せ(3/16)、区画道路打合せ(3/27)、橋梁打合せ(3/29) ②都市構造再編集集中支援事業打合せ(3/22) ●前沢町有林ランドスケープWS(3/23)、円道寺池ランドスケープWS(3/24)、ランドスケープ計画推進委員会議(3/30)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①業務委託については関係者及び関係機関と連絡調整を行い、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和5年度の概算要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①業務委託については関係者及び関係機関と連絡調整を行い、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和5年度の概算要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①業務委託については関係者及び関係機関と連絡調整を行い、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和5年度の概算要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①次年度の業務・工事については関係者及び関係機関と協議しながら、確実に工期内に完了するよう進めていく。 ②都市構造再編集集中支援事業の令和5年度の概算要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画に基づき、関係課と連携しながら、推進していく。 ●ランドスケープ計画は、関係者と協議しながら、計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      なし</p>	<p>引き続き計画的に役場周辺土地区画整理事業、都市再生整備計画事業、空家等対策計画等を推進していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり			
施策	風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならではの」地域づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	2	現状値	1	地区
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		未実施			
	5月	②図書館基本計画策定	未実施			
	6月		②図書館基本計画策定委員との懇談会6/28			
	7月		②図書館基本計画策定委員会7/29			
	8月	②図書館基本計画策定 ②図書館講演会	②図書館懇談会8/5参加者29名			
	9月		未実施			
	10月		②福島県矢祭町図書館、石川町図書館視察10/13			
	11月	②図書館基本計画策定 ②図書館ワークショップ	②第1回図書館整備委員会11/24			
	12月		未実施			
	1月		②第2回図書館整備委員会1/24 ②図書館懇談会1/11(2回)、1/12、1/13			
	2月	②図書館基本計画策定 ②図書館ワークショップ	②第3回図書館整備委員会2/9 ②第4回図書館整備委員会2/20			
	3月					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>②図書館基本計画の策定を引き続き行う。既存施設の利用も検討し場所の見直しを行う。今後の方向性について6月28日図書館基本計画策定委員と町長を交えた懇談会を開催。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>②7月29日図書館基本計画策定委員会を開催。委員会が策定した図書館基本計画書(案)を8月5日町長へ提出し、委員会は解散。8月5日図書懇談会を開催し、町民より多くの意見をいただいた。今後は、委員会が策定した基本計画、図書懇談会の意見を尊重しながら町の図書館基本計画の策定を行う。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>②益子町図書館の増改築案の参考にするため、武道場を改築した矢祭町図書館、廃校を活用した石川町図書館を視察。矢祭町図書館については、「手作り絵本コンクール」等素晴らしい取り組みが行われている。「もったいない図書館」と名前がついたとおり多くの本が寄贈されたが閉架書庫等の問題があるようだった。石川町図書館は、生涯学習施設、子育て施設と併設されており、連携がとりやすそうだったが、廃校利用のため利用スペースが限られていた。</p> <p>②基本計画、基本設計、実施設計、建設工事等を進めるにあたり、庁舎内に図書館整備委員会を設置。第1回会議では、建設場所の検討を行った。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 ( 第 4 四 半 期 含 )</p>	<p>図書館懇談会で挙げられた意見及び益子町図書館建設候補地比較検討報告書をもとに、新図書館候補地評価表を作成。委員会において、図書館候補地を町民センター周辺に決定し、3月議会において採択された。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      民主主義の世界では多数決によって採否を決するという事は当然のこととは思いますが、それが文化的なレベルでの図書館建設の件で用いられたことに対して残念に思う。</p>	<p>図書館建設に当たっては、パブリックコメントやワークショップ等において広く意見を聞き、魅力ある図書館づくりに努める。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進			
施策	安全に配慮した快適に移動できる道路の整備	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	重要通学路の安全・安心な道路の整備率	本年度目標値	65.4	現状値	67.5	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①町道18号線、町道155号線通学路整備事業 町道18号線工事完成		①国庫補助金申請を行った ②国庫補助金申請を行った、町道170号線用地測量業務【発注】 ③国庫補助金申請を行った ④工事2件【発注】(事業着手率21%)		
	5月	②町道170号線バイパス整備事業 用地測量業務発注		②町道170号線物件調査業務【発注】 ③橋梁点検業務【発注】		
	6月	③橋梁補修事業 橋梁点検業務発注、橋梁長寿命化修繕計画改定業務発注		①町道18号線工事完成、R5国庫補助金要望実施 ②R5国庫補助金要望実施 ③橋梁長寿命化修繕計画改定業務【発注】、R5国庫補助金要望実施 ④工事3件【発注】(事業着手率58%)		
	7月	④その他道路改良事業 予算の事業着手率30%以上		③大和田橋設計積算業務【発注】		
	8月	①町道18号線、町道155号線通学路整備事業 町道155号線設計業務発注		②町道170号線用地調査業務【完了】 ③大和田橋設計積算業務【完了】		
	9月	②町道170号線バイパス整備事業 用地調査業務の発注、用地測量業務の管理監督		②町道170号線用地調査業務(その2)【発注】 ③大和田橋補修工事【発注】 ④工事2件【発注】(事業着手率77%)		
	10月	③橋梁補修事業 大和田橋設計積算業務発注、大和田橋補修工事発注		②町道170号線土地評価業務【発注】、町道170号線用地取得業務【発注】 ④工事2件【発注】(事業着手率 当初予算比117%/補正後予算比77%)		
	11月	④その他道路改良事業 予算の事業着手率60%以上		①②③R5国庫補助金の要望活動実施 ①町道155号線測量設計業務【発注】 ④工事2件【発注】(事業着手率 当初予算比142%/補正後予算比93%)		
	12月	①町道18号線、町道155号線通学路整備事業 町道155号線設計業務の管理監督		②町道170号線物件調査業務(その2)【完了】		
	1月	②町道170号線バイパス整備事業 用地測量業務完了、物件調査業務完了、用地交渉開始		②用地交渉実施、相続資料準備 ③橋梁点検業務【完成】、橋梁長寿命化修繕計画改定業務【完成】		
	2月	③橋梁補修事業 大和田橋補修工事の管理監督		②用地交渉実施、相続資料準備 ④工事1件【発注】(事業着手率 当初予算比153%/補正後予算比100%)		
	3月	④その他道路改良事業 予算の事業着手率90%以上		①町道155号線の設計業務【完了】 ②用地交渉実施、相続資料準備 ③大和田橋補修工事【完成】 ④工事完成 90%		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①町道18号線は予定通り工事完了した。町道155号線に対する補助金の交付決定内示額は十分であったため、計画通りの事業を行う。次期四半期は町道155号線の設計業務を発注する。</p> <p>②町道170号線に対する補助金の交付決定内示額は補助金の交付決定内示額は十分であったため、計画通りの事業を行う。用地測量業務の発注に加え、一部の用地調査業務を前倒しで発注した。次期四半期は業務の適切な管理監督を行い、円滑に事業を進める。</p> <p>③橋梁補修事業に対する補助金の交付決定額は十分であったため、計画通りの事業を行う。橋梁点検、橋梁長寿命化修繕計画改定業務を予定通り発注した。次期四半期は大和田橋補修工事発注を目指す。</p> <p>④その他道路改良事業については目指した事業着手率を上回り、事業前倒しを行うことができた。次期四半期は当初予定していなかった箇所の整備必要箇所を精査し、補正予算の必要性を踏まえて検討する。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①町道155号線に対する補助金の交付決定が未だなされていないため、事業が進められない状態である(申請は4月中に済)。交付決定され次第、設計業務を発注する。</p> <p>②町道170号線の用地調査業務(その2)を予定通り発注した。次期四半期は業務の適切な管理監督を行い、用地関係業務委託完成を目指す。また、用地交渉に着手する。</p> <p>③大和田橋補修工事発注を予定通り行った。次期四半期は工事の管理監督を行う。</p> <p>④その他道路改良事業について、整備必要箇所を精査し、補正予算を確保した。次期四半期は予定工事全ての発注を目指す。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①予定より遅れているが、町道155号線の設計業務を発注した。次期四半期は町道155号線の設計業務を完了する。</p> <p>②町道170号線の用地関係業務の一部が完了しておらず、用地交渉の着手ができていない。次期四半期は用地交渉に着手し、できる限りの契約を目指す。</p> <p>③大和田橋補修工事の管理監督を行った。次期四半期は工事完成を目指す。</p> <p>④その他道路改良事業について、補正を含め予定工事全てを発注した。次期四半期は工事全ての完成を目指す。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①町道18号線は予定通り工事完成。町道155号線は設計業務まで完了し、次年度早期に設計説明会を行う予定。整備スケジュールについての影響はなく順調である。</p> <p>②町道170号線については、用地関係の業務が想定より期間を要した。用地交渉については家屋の移転や相続があり時間を要するため、次年度に引き続き行う。整備スケジュールについての影響はなく順調である。</p> <p>③橋梁補修事業については、予定した業務・工事を全て完了した。</p> <p>④その他道路改良事業については、予定工事を全て発注し90%が完了した。電柱移転の遅れなど他機関の理由により工事1件が繰越となり、4月完成見込である。全体として概ね予定通りである。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      なし</p>	<p>引き続き国庫補助金を適切に確保しつつ、通学路の安全確保、道路橋りょうの安全確保を進めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進			
施策	下水道の整備・更新、事業の健全経営化	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	6水とトイレ	11まちづくり		
KPI	下水道整備率(町が目指しているもの)	本年度目標値	86	現状値	82.7	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①下水道築造事業(未普及解消) ・繰越工事の管理監督及び今年度工事に係る関係機関との調整並びに設計図書準備 ・繰越工事实施区域における供用開始及び受益者負担金賦課の告示		①事業執行のための財源確保を行う。(4/28交付申請) 今年度予定工事打合せ(4/13)、関係機関との協議(4/21)、繰越工事竣工検査(4/28) ②事業執行のための財源確保を行う。(4/28交付申請) 増設工事(土建)定例会議(4/13)		
	5月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) ・増設工事(土建)(機電)の工程管理 ・沈砂池ポンプ棟の協定締結		①下水道供用開始告示(5/1)、今年度工事発注(5/19)、R5交付金ヒアリング(5/31) ②増設工事(土建)定例会議(5/19) 増設工事(機電)打合せ(5/24) ③年度初回打合せ(5/9)、業務打合せ(5/19-20)		
	6月	③公営企業会計移行事業 今年度実施予定業務確認及び工程管理		①今年度工事発注(6/16) ②沈砂池ポンプ棟新設工事の協定締結(6/6議会承認) 沈砂池ポンプ棟新設工事打合せ(6/28)、増設工事(土建)完成検査立会(6/29)		
	7月	①下水道築造工事(未普及解消) 今年度工事に係る関係者への事業説明及び工事発注		①下水道工事関係者説明資料送付(7/11)、関係機関との協議(7/21)、工事着工前打合せ(7/25)、今年度工事発注(7/27)、工事説明(随時)		
	8月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) 増設工事(機電)及び沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の工程管理		①交付金検査(8/24)、工事着工前打合せ及び工事工程会議(8/25)、工事立会(随時)、工事説明(随時) ②増設工事(機電)定例会議(8/9)		
	9月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施		①今年度工事発注(9/6)、工事着工前打合せ(9/9)、工事工程会議(9/15)、工事立会(随時)、工事説明(随時) ②増設工事(機電)定例会議(9/13) ③関係部署調整会議(9/2)		
	10月	①下水道築造工事(未普及解消) 今年度工事に係る管理監督		①交付金進行管理ヒアリング(10/3)、工事工程会議(10/13)、工事立会(随時) ②増設工事(機電)定例会議・沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)定例会議(10/11) ③関係部署調整会議(10/31)		
	11月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) 増設工事(機電)及び沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の工程管理		①工事工程会議(11/15)、交付金進行管理ヒアリング(11/25)、工事立会(随時) ②増設工事(機電)定例会議・沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)定例会議(11/9) ③企業会計システム業務発注(11/30)		
	12月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施		①起債ヒアリング(12/5)、工事工程会議(12/13)、工事立会(随時) ②増設工事(機電)定例会議・沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)定例会議(12/8)、増設工事(機電)繰越分既済検査(12/27)		
	1月	①下水道築造工事(未普及解消) 今年度工事に係る管理監督(工事完了)		①工事工程会議(1/16)、交付金請求(1/27)、工事立会(随時) ②増設工事(機電)定例会議・沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)定例会議(1/12)		
	2月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) 増設工事(機電)及び沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)の工程管理		①工事定例会議(2/14)、工事立会(随時) ②増設工事立会(2/3)、増設工事(機電)定例会議・沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)定例会議(2/9) ③業務打合せ(2/24)		
	3月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施(R4予定分完了)		①工事竣工検査(3/29) ②増設工事(機電)定例会議・沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)定例会議(3/16)、増設工事(機電)・沈砂池ポンプ棟新設工事現年分既済検査(3/16)、業務打合せ(3/30) ③業務打合せ(3/2)		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①繰越工事が早期に完了したため、今年度工事の発注を前倒しで行い、年度内の工事完了を目標に事業を進めていく。</p> <p>②増設工事(土建)については、今年度に繰越したが早期に完了した。増設工事(機電)については、定例の工程会議等により進捗管理を行う。 沈砂池ポンプ棟新設工事については、予定通り協定の締結が完了した。また、工事発注条件についての打合せが完了したため、次期四半期早々に入札公告する。</p> <p>年間を通しての懸案事項としては、5月から係の人員が1名減少したことで、今年度予定している事業がすべて完了することは困難な状況にある。上司や執行部には早期に欠員の補充を要請している状況である。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①今年度予定していた工事について発注が完了した。年度内に工事が完了するよう工程管理を行う。</p> <p>②増設工事(機電)については、定例の工程会議等により引き続き進捗管理を行う。沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)については、日本下水道事業団へ協定委託しており、落札業者が決定した。次期四半期から本工事の定例工程会議を開催し、進捗管理を行う。</p> <p>③企業会計へ移行に向け庁内の関係部署との事務擦り合わせが必要であり、調整会議を実施した。次期四半期においても継続して関係部署との調整会議を行う。</p> <p>5月から係が1名欠員の状況で事業を進めている状況であり、職員の過度に負担がかかっている。工事が本格的に進んでいき、事業進捗に影響を及ぼす恐れがあるため、早期に欠員の補充ができるよう要請していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①毎月工事工程会議において工事の進捗管理を行っているが、交通規制の影響もあり一部の工事について繰越する可能性がある。引き続き年度内完了できるように調整していく。また、区画整理事業地内の管渠実施設計業務については、区画整理事業の進捗が見込みよりも遅れているため、繰越となる見込みである。</p> <p>②増設工事(機電)については、繰越分の工事は年内に完了した。今年度分の工事についても繰越となる見込みである。 また、沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)については、提出されている工程表どおり工事が進められているが、今年度分の出来高率まで工事が進まないため繰越となる見込みである。繰越見込みであるため、交付金における繰越の手続きを行う。</p> <p>③関係部署との調整会議を実施した。次期四半期においても引き続き調整を行う。また、企業会計システムの導入に向けた業務を発注したので、引き続きシステム構築に向けて打合せを行う。</p> <p>5月から生じている欠員状況については、12月1日付けで建設課に追加の人員配置があった。直接下水道係への配置とはならなかったが、今年度については、業務の一部を割当てたため残りの4ヶ月間の事務分担を再調整し事業を進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①管渠工事については、交通規制の影響により繰越見込みがあったが、年度内に完了した。しかしながら、土地区画整理事業地内の業務の進捗の遅れにより管渠実施設計業務が繰越となった。</p> <p>②増設工事(機電)及び沈砂池ポンプ棟新設工事(土建)については、資材搬入の遅れにより工事の一部が繰越となった。</p> <p>③今年度予定していた業務については予定どおり完了した。次年度についても、令和6年4月法適用に向けて移行業務を進めていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      なし</p>	<p>引き続き計画的に下水道の整備を行い、適切な維持管理をしていきます。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進			
施策	地籍調査の推進と土地の適正かつ有効な活用	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	地籍調査進捗率	本年度目標値	22.4	現状値	23.7	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	①上大羽Ⅱ地区森林管理署(国有林隣接)協議 ・前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区地籍図地籍簿作成業務委託発注 ・前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区測量業務委託発注 ・山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区認証請求書仮提出 筆界特定制度仮申請提出 宇都宮財務事務所との協議		①上大羽Ⅱ地区国有林協議実施。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区C～FⅡ工程成果書類の精査、修正。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区G、H工程及び前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区C～FⅡ工程業務委託の積算。		
	5月			①山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区C～H工程成果書類の精査、修正、認証請求書類の作成。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区G、H工程及び前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区C～FⅡ工程の業務委託の発注。		
	6月			①山本ⅩⅢ地区認証請求書の仮提出。前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区C～FⅡ工程成果書類の精査、修正及び認証請求書類の作成。宇都宮財務事務所との協議。筆界特定制度仮申請提出。新規地区(前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ)業者との打ち合わせ。		
	7月			①前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区について、C2工程選点協議実施。令和5年度事業(新規地区:前沢Ⅳ、上大羽Ⅲ、大沢Ⅳ 継続地区:前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ)国庫補助要望資料提出。		
	8月			①前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区について、C3工程現地点検実施。E5工程相続関係調査実施。事業説明通知発送。筆界特定制度申請書提出		
	9月			①前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区について、C4～C6工程点検、E5工程相続関係調査実施。上大羽Ⅱ地区について、国有林伐採協議(日光森林管理署、町環境課)及び申請。大沢Ⅰ地区認証請求書を仮提出。		
	10月			①前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区について、C7工程点検、C8工程実施者検査実施。E7工程一筆地調査開始。		
	11月			①前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区について、C9工程認証者検査、E7工程一筆地調査、FⅠ2工程選点協議実施。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、農地転用部分を農業委員会と協議実施。		
	12月			①前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区について、FⅠ2工程現地点検、E7工程一筆地調査実施。前沢Ⅱ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅱ地区について、G2、3工程照合点検及び現地点検実施。国有林隣接部分の測量成果提出(上大羽Ⅰ地区)		
	1月			①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、G2～3工程点検、G4工程実施者検査、G5工程認証者検査、H1～3工程点検、H4工程実施者検査実施。H5工程(閲覧)開始。前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区について、FⅠ2工程選点修正協議実施。		
	2月			①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区のH5工程(閲覧)終了。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区工程管理のFⅠ3～6点検、FⅠ7工程実施者検査及びFⅠ8工程認証者検査の実施。		
	3月			①上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区の県道、河川、砂防ダム関係閲覧書について、真岡土木事務所と協議。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ。大沢Ⅱ地区のH7～8工程点検及びH9工程の実施者検査、H10工程の認証者検査を実施。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区のFⅠ3～6工程点検、FⅠ7工程実施者検査及びFⅠ8工程認証者検査の実施。FⅡ-11～13工程点検、FⅡ-14工程実施者検査及びFⅡ-15認証者検査の実施。FⅡ-2実施者検査及び認証者検査の辺長検査を実施。山本ⅩⅢ・ⅩⅣ・大沢Ⅰ 認証請求書申請。山本Ⅹ・ⅩⅠ地区登記完了通知発送。		

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①3年目の事業である山本XⅢ地区は、県へ認証請求書を提出済である。前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区については、修正に時間を要しており未提出である。書類が整いしだい提出する予定。 2年目の事業の前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅰ地区地籍図地籍簿作成業務委託、及び1年目の事業の前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区測量業務委託については、計画通り測量業者に発注済みであり、引き続き適正な工程管理、検査に努める。また、公図と現況の不整合箇所について、法務局等関係者と協議を行い、それらの解消に努める必要がある。また、国有地及び白地等に関して、財務事務所と協議済であるが、修正箇所あり、書類を再作成し提出する予定。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①C工程図根三角点設置に関し、前沢Ⅲ、大沢Ⅲ地区は計画通りであるが、上大羽Ⅱ地区については国有林内(日光森林管理署)に設置申請する際に必要な申請書に修正があり、協議中である。 2年目の事業である前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、公図と現況が不整合箇所は、資料作成に時間を要しており、書類が整い次第法務局に提出する予定。 1年目の事業の前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区については、関係機関との協議を実施し、E工程については計画どおり実施中である。事業説明会については、新型コロナウイルス感染防止のため開催は中止し、地権者には説明資料を送付。11月から予定している一筆地調査(境界確認)の際には、地権者に改めて説明を行う。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①山本XⅢ、大沢Ⅰ地区認証請求書を仮提出済であるが、前沢Ⅰ地区認証請求書については、書類の修正に時間を要しており未提出である。書類が整いしだい提出する予定。 前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、関係機関(法務局)との協議を調整中であるが、地籍図・地籍簿の閲覧(1～2月)に向けて予定通り進めていきます。 前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区については、C工程の基準点設置が完了し、町、県とも完了検査実施済みであります。また、E工程の一筆地調査(境界確認)は10月末から開始し12月末までに一通り終了しましたが、地権者欠席により立会いができなかった土地については、日程調整のうえ1月中には完了する予定。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①国に提出していた山本Ⅱ、XⅢ、大沢Ⅰ地区認証請求書については、県から問題がなかったと報告を受けており、正式通知後速やかに法務局に登録するための準備を進めていく。 前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、閲覧が滞りなく終了したため、認証請求に向け準備を進めていく。 前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ地区については、C～FⅠ工程の基準点設置及びE工程の一筆地調査、FⅡ-1工程の一筆地測量が完了し、計画通り進めていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      なし</p>	<p>第7次国土調査十箇年計画に基づき、地籍調査を推進していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	総務課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		政策	地域イメージの形成と定着		
施策	「ましこならでは」という価値の確立		進捗状況	100%		
関連する優先目標	—		関連するSDGs	—		
KPI	町公式SNSの年間「フォロワー」数		本年度目標値	140	現状値	542 人
KPI			本年度目標値		現状値	
KPI			本年度目標値		現状値	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①町公式SNSの投稿 各課へフェイスブックの投稿を依頼し、多くの記事を投稿してもらうことで、町の事業等の周知を図り「いいね！」の獲得を目指す。KPIの変更申請を行った。 (町公式SNSの年間「いいね！」数(Facebook)→(変更案)町公式SNSの年間「フォロー」数)	①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿17件】			
	5月		①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿28件】			
	6月		①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿22件】			
	7月		①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿21件】			
	8月		①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿21件】			
	9月		①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・町公式フェイスブックの投稿【投稿20件】【フォロワー数 +125件】 ・町公式インスタグラムの投稿【投稿5件】【フォロワー数 +179件】 ・町公式ツイッターの投稿【投稿3件】【フォロワー数 +32件】			
	10月		①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・町公式フェイスブックの投稿【投稿22件】【フォロワー数 +130件】 ・町公式インスタグラムの投稿【投稿11件】【フォロワー数 +202件】 ・町公式ツイッターの投稿【投稿8件】【フォロワー数 +37件】			
	11月		①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・町公式フェイスブックの投稿【投稿14件】【フォロワー数 +137件】 ・町公式インスタグラムの投稿【投稿5件】【フォロワー数 +222件】 ・町公式ツイッターの投稿【投稿11件】【フォロワー数 +57件】			
	12月		①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・町公式フェイスブックの投稿【投稿21件】【フォロワー数 +140件】 ・町公式インスタグラムの投稿【投稿6件】【フォロワー数 +236件】 ・町公式ツイッターの投稿【投稿11件】【フォロワー数 +61件】			
	1月		①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・町公式フェイスブックの投稿【投稿17件】【フォロワー数 +141件】 ・町公式インスタグラムの投稿【投稿8件】【フォロワー数 +254件】 ・町公式ツイッターの投稿【投稿3件】【フォロワー数 +64件】			
	2月		①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・町公式フェイスブックの投稿【投稿15件】【フォロワー数 +151件】 ・町公式インスタグラムの投稿【投稿0件】【フォロワー数 +268件】 ・町公式ツイッターの投稿【投稿10件】【フォロワー数 +70件】			
	3月		①各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼 ・町公式フェイスブックの投稿【投稿9件】【フォロワー数 +166件】 ・町公式インスタグラムの投稿【投稿8件】【フォロワー数 +302件】 ・町公式ツイッターの投稿【投稿19件】【フォロワー数 +74件】			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①町公式フェイスブックの投稿 各課へフェイスブックの投稿を依頼し、多くの記事を投稿してもらうことができたが、多くの「いいね！」を獲得することができず、目標に届かなかった。 今後、フェイスブックの「いいね！」が「フォロー」に一本化される流れがある。また、令和3年度に、Instagramや Twitterのアカウントを開設した。それらを加えることにより、ユーザー層の偏りの解消につなげていきたいと考え、KPIの変更申請を行った。(町公式SNSの年間「いいね！」数(Facebook)→(変更案)町公式SNSの年間「フォロー」数)</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>KPIの変更申請が承認され、9月分より)町公式SNSの年間「フォロー」数)に変更になった。 ①町公式SNSへの投稿 各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼し、町公式SNSの年間フォロー数の増加に努めた。 KPI 町公式SNSの年間「いいね！」数(Facebook) から 町公式SNSの年間「フォロー」数)に変更され、既に本年度目標値を上回っている状況となっている。引き続き各課へ記事の投稿を依頼していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①町公式SNSへの投稿 各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼し、町公式SNSの年間フォロー数の増加に努めた。 KPI 町公式SNSの年間「フォロー」数)に変更され、本年度目標値を大きく上回っている状況となっている。引き続き各課へ記事の投稿を依頼していく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①町公式SNSへの投稿 各課へ町公式SNSへの記事の投稿を依頼し、町公式SNSの年間フォロー数の増加に努めた。 KPIが町公式SNSの年間「フォロー」数)に変更され、本年度目標値を大きく上回った。引き続き各課へ記事の投稿を依頼していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aこのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      なし</p>	<p>町公式SNSの年間フォロー数を増加させるため、引き続き、町公式SNSへの記事の投稿を依頼していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課				
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		政策	地域イメージの形成と定着			
施策	「ましこならでは」という価値の確立		進捗状況	100%			
関連する優先目標	—		関連するSDGs	—			
KPI	町公式SNSの年間「フォロワー」数		本年度目標値	140	現状値	542	人
KPI			本年度目標値		現状値		
KPI			本年度目標値		現状値		
			①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月		② 4/23.24 ソラマチとちまるショップにて春の陶器市の周知イベント開催時、SNSフォローキャンペーンを実施。				
	5月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する					
	6月						
	7月						
	8月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する					
	9月		② 9/24.25米沢市なせばなる秋まつりにて観光PRを実施。				
	10月		② 10/22ソラマチとちまるショップにて秋の陶器市の周知イベント開催。 ② 10/8～10 佐野アウトレットにて秋の小さな陶器市開催。陶器市PRを実施。				
	11月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する					
	12月						
	1月						
	2月	②地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する	②JR上野産直市(2/17)への参加				
	3月		②川崎市高津区「春のふるさと館まつり」イベント参加(3/5)				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>② とちまるショップにて陶器市周知イベント開催時、益子町のSNSをフォローすると鈴木恵深さん作「あげあげはにわ」入りガチャガチャにチャレンジできるキャンペーンを実施した。益子町を知らない人でもはにわに興味を持ち、足を止める人もおり、導入としてはにわのガチャガチャは効果的であったため、今後も、同様の催事等を企画していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>② 米沢市なせばなる秋まつりにて観光PRを実施し、道の駅ましこの商品も販売した。益子町を知らない人が多数であったが道の駅商品の販売を足がかりに益子町をPRすることができたことから、今後も各種イベント等で積極的に町をPRしていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>② とちまるショップ、佐野アウトレットにて秋の陶器市PRをメインに観光PRを行った。陶器市については多くの方に認知いただいております、陶器市に行く予定があるという方も多く、併せてカフェや宿泊施設、美術館などのPRを行うことができました。今後も各種イベント等において、積極的に観光PRを行っていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>② とちまるショップ、佐野アウトレット、JR上野駅・産直市、川崎市高津区「春のふるさと館まつり」にて、観光PRを行った。アフターコロナを見据え、町内に多くの観光客を呼び込むことで、コロナの影響により疲弊した町内経済の回復を目指すため、来年度以降も各種イベント等において、積極的に観光PRを行っていきたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について                      Aそのまま継続 ○                      B改善・見直し                      C廃止・終了</p> <p>①意見・提言                      陶器市の案内地図の配布について、デジタル化が進んできたとはいえ、まだまだ紙ベースの地図を欲しがる人は多いと思うので、惜しげなく配布できるよう用意した方がいいと思う。それが益子町のおもてなしではないか？</p>	<p>引き続き、他地域における観光PRを積極的に行っていく。陶器市の案内地図配布については、観光客の方で紙ベースの地図をご希望される方が一定程度いらっしゃる現状も把握しており、「おもてなし」という面からも、陶器市主催者である益子町観光協会と充分協議し検討していきたい。</p>